

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 26 年度第 11 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 27 年 3 月 19 日 (木) 午後 6 時から午後 8 時まで		
開催場所	小金井市役所第二庁舎 8 階 801 会議室		
出席者	委員	<出席者：12 名> 大江会長・渡辺副会長・加藤委員・降旗委員・清水委員・多田岳人委員・多田典子委員・勝又委員・北澤委員・鶴田委員・豊田委員・岡山委員 <欠席者：2 名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・秋元ごみ対策課長補佐・井上・佐藤・穂山・吉田	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 第 10 回審議会会議録の確認について 2 議 題 一般廃棄物処理基本計画の策定について (答申) 平成 27 年度一般廃棄物処理計画の策定について (答申) 3 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

審議過程(主な発言等)

大江会長	<p>第11回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。前回、パブリックコメントの行政側の回答部分の文言の修正等も踏まえて、基本計画の中での文言修正を会長と副会長に一任された。基本計画の内容について、私と副会長で確認をさせて頂いたものが本日提出された資料となっている。再度調整をして、内容について変更したところもあるので、後で詳しくその辺りを説明して頂いて、今日の答申としていきたいと思う。また、今日は最後の審議になるので、委員の皆様方から一言ずつ、今後に向けてのご提言なり、ご意見なり、ご感想なりを伺いたい。まず事務局より配布資料の確認からお願いする。</p>
秋元ごみ対策課長補佐	(資料確認)
大江会長	<p>それでは第10回の会議録について意見・修正があれば発言をして頂きたい。</p>
加藤委員	<p>会議録5ページの私の発言の中で、生ごみ処理機補助の80%の5万円という限度は、日本でも1市くらいしかないとあるが、私は2市と言ったつもりである。ここを訂正してもらいたい。</p>
大江会長	<p>指摘して頂いた内容を修正した上で、他に意見・修正がなければ公開手続きを執るが宜しいか。</p>
委員各位	(異議なし)
加藤委員	<p>パブリックコメントで、私たちがもらったものと市民に公表されているものが、よく読むと一部変わっているので、網掛けをしてもらえれば分かりやすかったと思う。前回、ごみ対策課長が表現を変えるとといったところがあったが、そこは確かに変わってはいるので良い。また、市議会で配ったものとパブリックコメントで公表したものは一部変更したのだろうか。</p>
小野対策ごみ課長	<p>変更している。皆様から頂いた意見を基に変更を加え、市長の判断を得た上で公表している。</p>
加藤委員	<p>変わったところを網掛けにしておいてもらえる分かりやすかったと思う。審議会の時のものと公表したものはほとんど同じなので分からなかった。</p>
小野ごみ対策課長	<p>今日お配りさせて頂いた資料を見て頂ければと思う。主な文言の修正としては、例えば、No.17からNo.20のコストについて、また、No.53からNo.56の目標値について等、前回の審議会でご指摘頂いた点を踏まえて、訂正をさせて頂いている。</p>

審議過程(主な発言等)

大江会長	パブリックコメントについて、市議会に出した時期やその後の時間の流れについて説明して頂きたい。
小野ごみ対策課長	平成27年2月19日の第10回審議会で、色々ご意見を頂き、そのご意見について私どもで検討を行い、修正を加えたものを、平成27年2月24日に庁議で、このような形でパブリックコメントの結果を公表する、ということで理解を頂き、平成27年2月25日からホームページや各閲覧場所にて公表させて頂いている。
大江会長	中身については宜しいだろうか。
加藤委員	大体落ち着くところには落ち着いていると思う。
大江会長	変更箇所について何か意見はあるか。
渡辺副会長	特にないと思う。基本は前回の審議会の意見が反映されていると思う。生ごみに関しては、更なる有効活用について調査研究を行っていくということが加わっており、生ごみの分別収集に関しても、前回の内容と比べ少し柔軟な表現に変更されている。
加藤委員	パブリックコメントでは、「生ごみ分別収集の施行について記述がないのは、どのような審議会での結論か」という意見については、検討結果として、「分別収集の実施は条件的にも難しいのではないか」というご意見を頂いた」とされている。そういう意見もあったかもしれないが、私はそうではない意見を出しているわけで、それが変わってないところは残念である。
渡辺副会長	表現は少し柔軟になっていると思う。
加藤委員	結論は変わっていないと思うが。
大江会長	パブリックコメントについては、概ね前回の審議会の意見が反映されているということで整理させて頂きたい。更に、パブリックコメントの意見に対する検討結果を踏まえて、基本計画を修正している。この基本計画については、前回の審議会において、文言等について会長・副会長に一任されたことから、私と副会長で確認を行ったところである。これを踏まえた基本計画について、前回提示されたものと変更しているところがあるので、事務局より説明して頂きたい。
小野ごみ対策課長	主な変更点としては、45ページからの第4節と47ページからの第5節を入れ替えている。また、前回指摘を頂いた46ページの2,000tについての表記を変更し

審議過程(主な発言等)

	<p>ている。更に、来年度新たに改訂される上位計画である第4次基本構想の人口推計の考え方と整合が図れるように、人口推計についても変更させて頂いた。</p>
<p>大江会長</p>	<p>何かお気付きになったところはあるだろうか。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>46ページの2,000t増加する想定について、これは市の想定で、一つの意見と言えそうですが、実際にこうなるとは思っていない。例えば調布市は、小金井市と同じように広域支援だったが、平成25年度からふじみ衛生組合として三鷹市と新しい体制になっている。清掃事業の概要を見ると、事業系のごみは平成24年度が4,376t、平成25年度は5,251tである。875t、20%程の増加である。調布市の場合、ごみの手数料を49円から35円に14円下げた影響もあると思うが、増える量はその位である。小金井市の平成26年度の事業系ごみはこの2月までは、256tとずっと少ない。2割くらいは増えるかもしれないが、10倍を超えることはあり得ないと思っている。多摩の討論会でも、ごみの有料化から無料化に戻った所もあるらしいが、そんなにごみは増えていないと伺った。もう文章を変えることはないかもしれないが、これについてはこだわって申し上げたい。ここだけ2,000tという数字を出していることは、実際はそうではないかもしれないが、大枠を取っておけば安心だ、課題に挙げておけば良いというくらいの判断でやっているような気がしてならない。</p>
<p>藤田ごみ処理施設担当課長</p>	<p>調布市では積み替え施設を設置し、事業系については、民間施設へ市を通して搬送していたので、そのような数字になっている。しかし、小金井市は積み替え施設がないのが現状である。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>小金井市も積み替え施設でやっていたのではないか。</p>
<p>藤田ごみ処理施設担当課長</p>	<p>ご指摘のとおり、過去の一時期だけ積み替え施設を借用してやっていたが、その当時はもう少し大きい数字であった。2,000tと言いつけてきたのは、今後手数料が変更になって大量にごみが戻ってきた時に、搬入できないということがないような事態を想定して、表記させて頂いている。調布市とは背景が違うので、数字だけの比較はしにくいということは、述べさせて頂きたい。</p>
<p>大江会長</p>	<p>今、話があったような背景があることから、平成31年の中間年度のところで検討して頂ければと思う。また、平成27年度の処理計画は前回結審しているが、変更点はあったらどうか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>変更点は、8ページの平成27年度の計画処理量が、先程の人口推計の関係があるため、ここは数字が変わっている。他には特にない。</p>

審議過程(主な発言等)

大江会長	どのように変わったのだろうか。
渡辺副会長	26,974tが26,987tに変わっている。基本的なシナリオとしては、平成25年度と平成26年度よりは微妙に少なくなることは変わらないということである。
大江会長	了解した。ごみ処理計画の方も、その数字が変わったものを答申させて頂く。
加藤委員	審議会の中で、参考資料として数値的なものがいくつか出ているが、意見を聞く会等でも、これをぜひ載せて頂きたいということに対して、検討するという回答だったと思う。審議会に出されている参考資料はほとんど出していないようだが、それは検討されたが、やはり難しいということか。
小野ごみ対策課長	参考資料は正式な資料ということではなく、審議を頂くに当たっての参考ということで提示させて頂いたものなので、参考資料の中でも資料編に載せるものとそうでないものを精査させて頂いた。
加藤委員	参考資料を載せて頂ければ、ごみゼロ化推進会議等で検討する際に非常に役立つと思ったので、残念である。
小野ごみ対策課長	数値に関しては、資料編の121ページから126ページにおいて、本編を補う資料としてお示しをさせて頂いている。
大江会長	了解した。それでは、他にお気付きの点がなければ、答申というような形にさせて頂きたいと思うが、宜しいだろうか。
委員各位	(異議なし)
大江会長	今日、この答申をさせて頂くが、まず、基本計画を答申させて頂き、平成27年度の処理計画を引き続いて答申させて頂く。市長が議会中なのでこちらに来られないため、副会長と二人で行って市長に答申して参りたいと思う。
小野ごみ対策課長	その他事項として、ごみ処理施設担当課長から、現在の新可燃ごみ処理施設の進捗状況について情報提供をさせて頂きたいが、宜しいだろうか。
藤田ごみ処理施設担当課長	(新可燃ごみ処理施設の進捗状況報告)
大江会長	今日までの中で、委員の皆様には本当にご協力を頂いた。ありがとうございます

審議過程(主な発言等)

加藤委員	<p>た。そこで一言ずつ、感想なり、ご意見なりを頂きたいと思う。</p> <p>配布資料にある燃やすごみの昨年度との比較を見ると、2月末現在で増減ゼロということだが、実際家庭系ごみは78.6t増えている。今年度の実施計画についてもこれからの計画についても、見直して抜本的な施策をしないと、可燃ごみは減量できないと思っている。不燃ごみが増え、可燃ごみまで増えるようなことがここで実証されているのではないかと思う。生ごみ堆肥化事業については、民間の施設にやって頂くことになったが、これまでコストが非常に高かったのだが、平成27年度は民間施設でやったにしても、今までよりも全体的に安くなったような気がしている。保育園、小学校、中学校、あるいは地域の生ごみ処理機のリース費用等が、リース期限の満了に伴って再リースしている機器もあるということもあって、相当安くなっている。そういうことも手伝って、生ごみの乾燥を今度は一次処理ではなくて、完熟にするということが加わっても、この堆肥化事業について、こういった措置をしたことは、ごみの経費削減にも少しは役に立ったのではないかという感想は持っている。短い期間の中で、資料を作成したり修正したりしている点では、行政も大変だったと思う。前回の計画よりもかなり内容も良くなっている。前回の基本計画は18年に作り20年に達成したが、今度の計画は10年たっても達成しない可能性がある。私は、小金井市民の努力を大変感じている。やる人はギリギリまでやっているが、やっていない人はやってもらう様にすることが課題だと思う。単身集合住宅を含めて、まだ減量余地のある方の対策がかなり大変だと思う。大変な時間的な制約の中でご尽力して頂きありがとうございました。</p>
降旗委員	<p>125ページの基本計画を見ると、小金井市で燃やすごみが12,000tを切るのだが、こういった問題や日野市との問題もあるため、信頼関係を得るには、燃やすごみ等の減量を進めていかなければならない。信頼関係を得るためには、ごみの減量等、そういったものを進めていって頂きたいと思う。</p>
清水委員	<p>出来上がった資料を拝見して、10年前にやったものと比べると7~8割増のページ数で、非常に分かりやすく、内容も充実している、非常に立派な基本計画ができた印象である。ただ一つ、審議会とは何なのだろうということがある。非常に専門的な話が多数出たのは良いが、審議会は市民の各層の色々な意見を集めて、色々な観点で議論するものではないかということからすると、少し議論が偏り過ぎてはいないかという印象を持っている。審議会に出ても、ほとんど発言せずに帰ると、自分は居ても居なくても同じではないかということをおぼろげに思わざるを得ないところもある。今回は非常に急いで二つのテーマに取り組んだので、時間も限られていて、やむを得ないところもあるのだが、次回以降は、色々な方々の立場の意見を発言できる場という形も取り入れて頂きたい。</p>

審議過程(主な発言等)

<p>多田岳人委員</p>	<p>今後10年間の計画を決めるのであれば、例えば、去年の3月くらいに立ち上げて、委員も20～25人を集めて、毎月2～3回やって、合計20回くらい議論をした方が良かったのではないかと、私は思っている。もう一つは、加藤委員も言っておられたが、可燃ごみを実質上プラスマイナスゼロになってしまったことは相当な危機感、切迫した気持ちで行政に働いて頂かないと、近い将来絶対にプラスになっていくのではないかと。微増が続いていくような状態になるのは、やはり少しまずいのではないかと。更なる可燃ごみの圧縮について、一生懸命市民も行政も事業者も協力して、やっていく必要があるのではないかと。</p>
<p>多田典子委員</p>	<p>なかなか専門的な話についていけないところが申し訳なかったと思っている。市民の1人として、私の立場でのことしか発言ができないし、フィードバックするとすれば、DVD を子どもたちに伝え、多くの市民の人たちにごみの現状を伝えることで学ぶことしか伝えられないのではないかとと思うが、頑張っていきたいと思う。</p>
<p>豊田委員</p>	<p>私自身も新たに参画させて頂いたのだが、毎回、何か自分なりの特別な気持ち、意見を言いたいと思いつつ、専門的な部分で考えた時に、あまりに自分が思っていることのレベルの低さに、言葉を飲んでしまうということがかなり続いた。これは私の力量不足、なせる技ではあるが、そんな思いでずっと来てしまった。各委員の方たちの深い見識に感心しきりで、色々なデータを駆使しながら、このようにまとまっていくのかと、その一分野ではあるが、参画させて頂いたことは非常にありがたいと思うと同時に、非常に勉強になったと強く思う。家で生ごみを乾燥ごみにしており、今調子よく動いている。今までは仕事があったため、物理的な時間を持てなかったのだが、今は家にいるものだから、回収の火曜日になると、回収している方に「お疲れさまです」と声を掛けることやちょっとしたやり取りが妙にうれしく、色々な思いを感じている状況である。自分の立場でもっと発言しなければいけない部分を結構おろそかに、なまけてしまったというのが正直なところである。今後に生かしていきたいと思っている。ありがとうございました。</p>
<p>鶴田委員</p>	<p>私も今回初めて参加させて頂いたが、この短期間で10年の計画を作ってしまったのだなど逆に驚くくらいで、非常に内容の濃い資料、計画ができ上がったのではないかと、それに参加できたことに大変誇りを持っている。一市民として、今まであまりこういうことに触れていなかったのだが、パブリックコメントで意見を出してくれる方もいるのだということも感じて、もっと市民が積極的に参画できるよう、門戸を広げて、市民も積極的に参加できるような会になっていけば、より良いものになっていくと思う。これからもぜひ参画していきたい。ありがとうございました。</p>
<p>勝又委員</p>	<p>膨大な資料の中で、自分の思いがついていけなくて、毎回無力感を感じながら帰っていくようなことがあった。私も一般市民として参加しているが、日常生活とか</p>

審議過程(主な発言等)

北澤委員	<p>け離れた話で、表現の仕方の細かい違い、例えば回収と収集の違いを家に帰って調べて、頭に入れてみたが、その時にはぴんと来ない。話は違うが、うちの隣の方がいつもティーバッグを物干しにぶら下げているが、先日の市報に乾燥させて、ごみとして出すようにとの意見が載っていた。それで、あの方は乾燥して出すためにしていることが分かって、私にはそこまでの意識がなかったことを反省した。ごみの減量に関してはそんなに進歩していないと数字的には出ているが、普通の人たちがそこまでやっているのを私は感じながら暮らしていることを、ここで一言言わせて頂いた。</p> <p>私は2期目で、基本計画の策定のお手伝いを初めてさせて頂いた。10年間の計画といっても、今回は非常に特殊な形態で、平成31年度までは過去を引きずっていかねばいけない。そして新しく体制が整ったところで、がらりと変えていくということで、なかなかその作り込みも大変だったのではないだろうか。ぜひ5年後には見直して、新しい処理基本計画、小金井市の将来を見据えたようなものを、もう少し人数をかけて作っていく必要があるのではないかと思った。年度ごとの一般処理計画で細かいところについて目標値を立ててやっていくとのことで、PDCAが回らないと言っていたのだが、平成27年度の実施計画を見ても、やはり「随時」が非常に多くて、項目も多くそして目標値がなかなか定まっていない。次の計画はもっと絞り込んで、こことここをやれば、ごみが削減できるとした方が良いのではないかと思う。何でも一緒に無造作に置いておいて評価のしようもなく、何となく進んでいるということで全て終わってしまうと、次の展開はない。もう少し絞り込んでいくような形が良いのではないかと思う。個人的にはなかなか意見も言えなくて、策定のお手伝いができなかったこともあるので、その辺りは今後もっと勉強しながら、もう少し策定に関われればと考えているので、宜しくお願いする。</p>
岡山委員	<p>計画づくりについては、何回か別の自治体で関わったこともあるのだが、ここまで短時間で作り込んだのは、やはり初めてである。非常に短時間によくぞ作れたなと少し感心している。私自身は小金井市民でもなく、経緯についても知識が足りず、そういう意味ではこの中では断トツに全く知識のない人間である。そういう意味では、市報も読まない、政治に全く関心もない、政策に関心もないという市民の代表のような存在だったと思う。分別に関してはやって頂くのが、市民の皆様一人ひとりなので、市民目線が本当は一番大切なのである。市民が分からないものはできないので、分からないことは率直に分からないというように意見を戦わせるのが、一番正しいのだと思っている。今回はそういう時間がなかなかなくて、もう少し時間をかけて、ゆっくり勉強しながらできれば良かったが、そこは仕方がなかったと思う。今後のことだが、何でもかんでも書いてあると北澤委員はおっしゃっていたが、計画というのは実は何でもかんでも書いておかなければいけないのである。書いていないことはできないので、書いておかななくてはいけない性格のものなので、かなりのこと</p>

審議過程(主な発言等)

	<p>が羅列されているが、これだけのことをやるのだという、小金井市の計画なのである。これが本当に実行されていくのかをチェックする、まさにPDCAのCの部分が非常に重要だと思っている。そういう意味では、この審議会も重責を担っていて、やっていることをチェックすること、評価することが非常に重要なので、私自身も今後さらに勉強させて頂きながら、来年度以降、実施されていくのかどうかを逐次注視していきたいと思っている。そういう意味では、今後この委員会は監視委員会のような感じになってくるので、引き続きこの計画の策定に参加した皆様がチェックの部分もすることが責務だと思い、今後とも色々市に協力していきたい、全員で今後とも頑張っていきたいと思っている。勉強させて頂き、どうもありがとうございました。今後も宜しくお願いする。</p>
渡辺副会長	<p>私は初めての基本計画であったので、非常にいい経験をさせて頂いた。期間が短かったので、詰めて議論できなかつた部分もあり、私自身も数字のつじつまを合わせるところに目が行きがちなどころもあって、大枠での方針等でもう少し議論ができたなら良かったのではないかという感じもする。資源物も含めてという話から、資源物を除いた家庭ごみに途中でがらりと変わったこともあったが、本当に短期間で何とかできたという感じはしている。86ページの主なごみの年間処理経費についてはもう少し早く情報があれば、もう少し議論ができたのではないかという感じもする。14ページの値と少し違う値になっていて、計算の仕方によって違うことも分かるころであると思う。色々な質問をさせて頂いて、その中から色々なことを知ることができて、私も本当に勉強ができて良かった。つじつまを合わせるのには少し貢献できたかと思っている。ありがとうございました。</p>
大江会長	<p>本当に皆様に多大なご負担をお掛けしながら、大変寛容に対応して頂き、ご協力を頂いた。清水委員から審議会のあり方についてご意見を頂いたが、私も審議会は行政が作っていく政策に多様な市民意見を反映する大事な場だと思う。ただ、形骸化してしまうというのは、私自身が行政の立場も分かるため、この時間で進行させなくてはと思い、端折ってしまわざるを得ないところや、情報が出ていない部分についてこうなのだろうと先取りしてしまうようなところもあったかもしれない。また、多田岳人委員のご意見にもあったとおり、時間が確かに足りなかった。しかし、時間があって回数をかけたからといって、質を上げるところにはなかなかいかない。そういう面では、時間と中身は必ずしも比例するものではないので、やり方を工夫していくべきだと思いつつ、今回は時間が足りなかったことだけは間違いないと思う。難しい問題を抱えている中での基本計画であり、かつて平成18年度からの基本計画を策定した時も平成19年度から廃炉が決まっていた、その先が見通せなかった。今回もまた微妙なところで見通せなくて、それでもようやく少し形ができてきた。ごみ非常事態宣言の下市民が一番疲れていて、努力がなかなか実を結んでこないことが日常化してしまうと、非常に辛いところである。一つだけ私がこの先にぜ</p>

審議過程(主な発言等)

	<p>ひ皆様で、行政も含めて考えて頂きたいのは、ごみゼロ化推進員という熱心な人たちが集まっているところがある。そこが一つ、小金井市のごみ問題の市民対応の核だと思う。そこと行政の核のごみ対策課との協力関係が強化されれば、大きく前へ進めると思う。協力関係が高まっていく余地がまだ沢山あると感じている。基本計画の中には、協力を沢山盛り込んでいるので協力関係を結び付けて頂きたいと思う。あともう一つ、審議会での意見が専門的になってしまったことは本当に反省すべきところである。しかし、色々な形で議論を高めていくと、専門化してしまう。専門化した難しいものを、より分かりやすく伝えなければならない。難しいことは簡単に、簡単なことは面白く進めることができなかった。時間制約に逃げ場を作るのではなくて、この先はより実質化して行って欲しい。小金井市の場合は情報を消化しながら、行政もより市民の方へ情報提供と透明化を進めて質を高めるため、市民と協力をしながら良い政策決定に持っていけるような意見を吸収して欲しい。委員の皆様には、ご協力頂きご無理なご相談をさせて頂いてここまで来たと思っている。どうもありがとうございました。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>ごみ対策課長として、短期間の中、色々なご意見を頂いた。本当にありがとうございました。私もできるだけ皆様のご意見を持ち帰って議論をし、実現できる部分とそうでない部分があったと思うが、実現できる部分はなるべく盛り込ませて頂いたつもりだ。会長以下皆様におかれましては、色々な制約やしがらみの中で作っていかなければならない基本計画だったと思っている。平成27年度については本計画の初年度なので、また大江会長を中心に、チェック・評価をして頂きたい。自己評価はどうしても甘くなりがちで、これ以上できないというのが前面に出てきてしまう。皆様の厳しいチェックを受けながら平成28年度以降の実施計画に繋げていけたらと思う。今回延べ25時間以上ご議論頂き、出来上がった基本計画については、一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと思うので、引き続き宜しく願いたい。今日答申頂いた基本計画を元に行政の最終的な決定を持って、平成27年3月31日までに策定し、平成27年4月1日から施行となる。若干文言が変わるかも知れないが、基本的には本日答申を頂くこの形で基本計画が出来上がると思って頂ければと思う。</p> <p>(大江会長、渡辺副会長別室へ移動)</p>
<p>大江会長</p>	<p>答申させて頂きたい。 (小金井市一般廃棄物処理基本計画について (答申)) (平成27年度一般廃棄物処理計画について (答申))</p>
<p>稲葉市長</p>	<p>ただ今、大江会長から小金井市一般廃棄物処理基本計画と平成27年度一般廃棄物処理計画について答申を頂いた。皆様からご答申頂いた内容を、市と</p>

審議過程(主な発言等)

して真摯に受け止め、「循環型都市小金井の形成～ごみゼロタウン小金井を～」目指して、基本計画と実施計画に掲げた施策に取り組んで参りたいと考えている。9月に諮問させていただいて以降、延べ25時間を超え、ご審議を頂いたことに、感謝申し上げます。また、4月以降についても、基本計画の初年度ということもあることから、大江会長を中心に、平成28年度の実施計画についても、引き続き、ご審議をお願いできればと考えている。

(閉会)